

無料 募集 生 講 受

無料

長崎県

波佐見焼サクセツサー養成講座
×
武蔵野美術大学

波佐見焼をつくるための道具
それを使う職人さんたち
現場を体験できます。



長崎県

波佐見焼次世代就労者育成（サクセッサー養成）講座

場 所：武蔵野美術大学 14号館 陶磁工房

【お問合せ】 波佐見焼振興会

〒859-3711

長崎県東彼杵郡波佐見町井石郷 2255-2

TEL：0956-85-2214

H P：http://hasamiyaki.com

開催日：平成 29 年 7 月 13 日（木）

波佐見焼は、約 400 年以上にもわたり日常食器を生産し、現在もライフスタイルにあわせた商品の開発を積極的に進めています。長い歴史や環境風土の中で育まれてきた「波佐見焼」の特色と技を知っていただくために、「波佐見焼次世代就労者育成（サクセッサー養成）講座」を開催することになりました。

【スケジュール】

9:30 受付開始

10:00 #1 「波佐見焼の歴史」（講座）

10:45 #2 「波佐見焼の製造工程」（講座）

11:30 昼食 各自ご準備ください。

12:30 #3 実演見学&体験

石膏型・排泥鑄込み・圧力鑄込み

機械ロクロ・手ろくろ・絵付

16:15 #4 意見交換会

16:30 終了

#1 波佐見焼の歴史

講師：中野 雄二



プロフィール

1966 長崎市生まれ

1993 金沢大学文学部史学科考古学コース 卒

1993 波佐見町教育委員会勤務

現 在 波佐見町教育委員会

文化財保護係 学芸員

専 攻 近世考古学

所属学会 東洋陶磁学会、近世陶磁研究会

長崎県考古学会

本講座では、主に発掘調査で明らかにされた成果をもとにしながら、江戸時代を中心とした波佐見焼の歴史についてご紹介いたします。現代まで受け継がれてきた波佐見焼の豊かで奥深い歴史を少しでも知っていただければ幸いです。

#1 実演見学（体験） 波佐見焼の製造工程



石膏型

同じ形のやきものを量産するためには成形用の型が必要です。

やきものは水分を多く含んだ陶土が原料のため吸水性のある石膏が最適です。

加工しやすく強度もちょうどよい石膏は非常に優れた材料です。



排泥・圧力鑄込み

鑄込み成形法には、排泥鑄込みと圧力鑄込みがあります。

排泥鑄込みは中空の石膏型に泥しょう（液状土）を流し込んで成形します。

圧力鑄込みは石膏型に圧力を加えながら泥しょうを注入し、成形します。



機械ロクロ

電気モーターで回転させる台に石膏型をセットして、陶土をコテで抑えながら形づくる方法です。

飯碗や皿などを同一形状で大量に生産する場合に、このような成形方法が採用されます。波佐見では「みずごて」とも呼ばれています。



絵付

筆を使った絵付には「ダミ」「線描き」などがありますが、その他に量産に適した「パッド印刷」「判子」など様々な手法で絵付が施されています。

「呉須（ごす）」という藍色の絵具のほかカラフルな色の絵具が開発され多様な商品が作られています。

① 電話（波佐見焼振興会：0956-85-2214）にてご連絡。

お申込み方法 ② 下記事項にご記入いただき FAX（波佐見焼振興会：0956-85-2856）にて送信。

③ メール送信フォーム（<https://form1ssl.fc2.com/form/?id=a1164c32e9ae46bf> ⇒ ）にて送信。

住所 〒

ふりがな
氏名

性別

男 ・ 女

年齢

才

TEL

mail